

7月の園だより

生き物

食事の時のこうま組。部屋にいる虫やザリガニのご飯のことが話題に。「エサをとったりあげたりするんだよ」「ダンゴムシは何食べてるのかなー」「ザリガニはミミズとか」など話している。聞いていた5歳児が「生き物はさーみんな食べないと弱っちゃうよね」と言う。「生き物」という言葉に小さな虫も私たち人も含まれていることが伝わってくる話し方。

5歳児ともなると「生き物」という大きな属性とその中には色々なものが含まれていることを解っているんだと感心しました。生きているもの、命あるものはすべて同じく大事であり同等であることを、子どもたちが素直な気持ちで思っていてくれるように大人もいたいと思いました。

梅狩り

今年も後藤なぎちゃん(卒園児)のおしーちゃんに声をかけていただき、年長児が梅狩りをさせていただきました。52.3キロもの梅を取らせていただき、各クラスごと5歳児はお土産にしました。

梅の働き知っていますか？・唾液を分泌させ、体を潤す・汗のかきすぎを防ぐ・肺の機能を高め、咳を止める・痰を取り除く・下痢や水様便を緩和するなどの働きがあるとされます。急な下痢や腹痛、胃腸風邪、気温差バテ、食欲不振、疲労回復等におすすめ。梅にはいろいろなパワーがあります。各クラスでは梅ジュース、ハード組では梅干しを作りました。暑くなったら梅ジュースを飲もうとみんな楽しみです。



梅のお礼

後藤さんにお礼の写真のカードを作りました。封筒に年長さんが字を書き、届けに行きました。後藤さん、ありがとうございます！



ポニー

今年度1回目のポニー来園。今回もラッキーとテラがエヘガザルのげんにい・チェリーさんと一緒に来ました。

子どもたちは慣れたもので、いつもはじっとしていられずにいる子もポニーに乗るのに座って待っているのが、げんにいにこんなに座ってられるなんてとびっくりしていました。普段の生活ではそこまでできていませんが、どの子もラッキーやテラに乗りたいたので、ちゃんと順番を待っているんですね。ラッキーとテラの背中でみんなご機嫌でした。



挑戦

子どもを見ていると自ら体の中にある力を伸ばしていこうと、自然にしているように思います。6月になって、あおむしくんに登れるようになった、ジャンプできるようになった、登り棒の上まで、靴で登れるようになった、うんていができるようになった、鉄棒で逆上がりができた、次々に報告を聞きます。

できるようになる前には何度もそのことをしているのですが、繰り返すことでどう身体を使うのか、力を出すのかを感覚として習得しているようです。できるようになると嬉しくてさらに繰り返し行って、みんなにも見せたい、できるようになったことが「きもちいい」と表現した子どもの言葉を聞き、その子どもに喜びを感じました。



おつかい

園の道路を挟んだ向かいのお家にたいようさんと一緒にご挨拶に行きました。

「ちょっとはずかしい」「ドキドキしちゃう」「いえるかなー」と言っていたのですが、「こんにちはー」と元気な声であいさつができました。時々犬の鳴き声が聞こえてきていたので名前を聞くと「なずなちゃん」とわかりました。ちょっと大きい犬ですが可愛くて、子どもたちは手を伸ばして触らせてもらいました。



どろんこ

はじめはそおっと、ひとあし。またひとあし、どろんこに足を入れていた子どもたち。座ってみて、足を伸ばして、ねころっがって、どろに包まれてどろの温もりをゆっくり感じていました。体を汚して心を洗う、そんな言葉そのものですね。



主任：福島かおり